

# 足のトラブルを抱えている人を減らそう



<法人名>愛知県同胞援護会  
 <施設名>特別養護老人ホームとよた苑  
 <サークル名>フィンガー5  
 <発表者>渡邊 都貴子  
 <機器操作者>杉山 あき

## 1. 職場紹介

とよた苑は平成7年に開所した利用者100名の特別養護老人ホームです。併設としてショートステイ、デイサービス、訪問入浴、ホームヘルプサービス、福祉用具貸与事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、ケアハウスがあり地域の拠点として、幅広くサービス提供を行っています。

## 2. 実践サークル紹介

構成人員	5名	過去のQC活動件数	1回
現メンバーでの活動歴	1件目	構成メンバーの職種	看護師
平均年齢	42歳		
月当たりの会合回数	3回	主な活動時間	業務時間内・外

## 3. テーマ選定理由

足が抱えるトラブルには多様な種類があるが、観察しにくい部位であることや、緊急を要しない為、放置されがちである。しかし、水虫が原因で蜂窩織炎を引きおこし全身状態に影響がでる、または、褥瘡が悪化し切断をよぎなくされるケースなどがしばしばおきている。足の健康に関心を持ち、トラブルを未然に防ぐための知識や技術を習得したいと思いこのテーマに取り組むことにした。

本テーマの活動期間 (5.5ヶ月)

本テーマの会合回数 (15回) 会合時間 (1回平均30分)

## 4. 今回の活動に関する施設長のコメント

### 1. 活動が与えた施設への効果

介護職員が足のケアの重要性・必要性を理解することにより、利用者さんの身体状況をしっかり観察できるようになった。

### 2. 実践者(サークル)に一言

足のトラブルを抱えている利用者さんは、「青空」以外にも大勢いるので今回の目標達成に満足することなく、今後も継続して活動してもらい、とよた苑利用者さん全員の健康保持のために努力してもらいたい。

## 5. テーマ選定

<評価基準>◎:5点・○:3点・△:1点

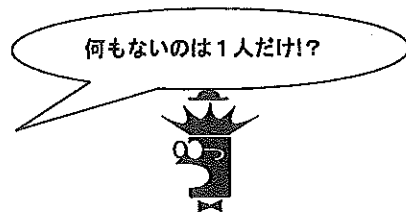
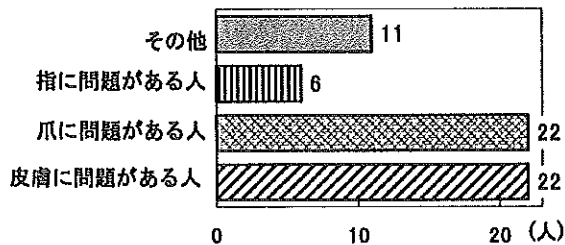
問題点	項目	重要度	緊急度	上司方針	効果期待	知識向上	総合評価	順位
嚙下状態が悪い人が多い		◎	○	◎	△	○	17	3
足のトラブルを抱えている人が多い		◎	○	◎	◎	◎	23	1
尿路感染を防ぎたい		◎	○	○	△	◎	17	3
乾燥肌の人が多い		○	○	○	○	△	13	5
効果的なマウスケアができていない		◎	○	◎	○	◎	21	2

6. 活動計画 計画 ..... 実施 →

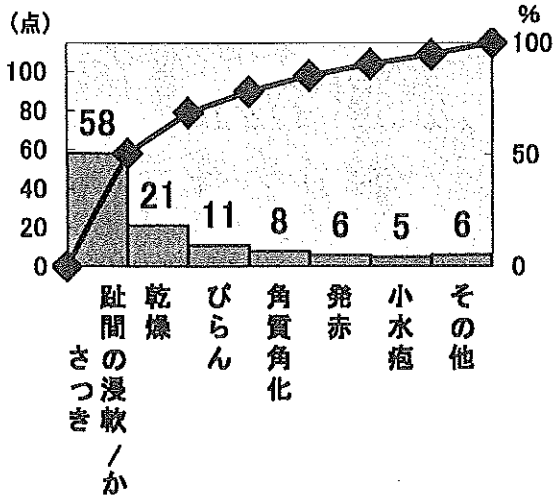
項目	6月	7月	8月	9月	10月	担当
テーマ選定	→●					本田
現状把握	→●	→●				杉山
目標設定		→●	→●			田村
要因解析		→●	→●			成瀬
対策実施			→●	→●	→●	渡辺
効果確認					→●	杉山
歯止め					→●	田村
まとめ					→●	本田

7. 現状把握

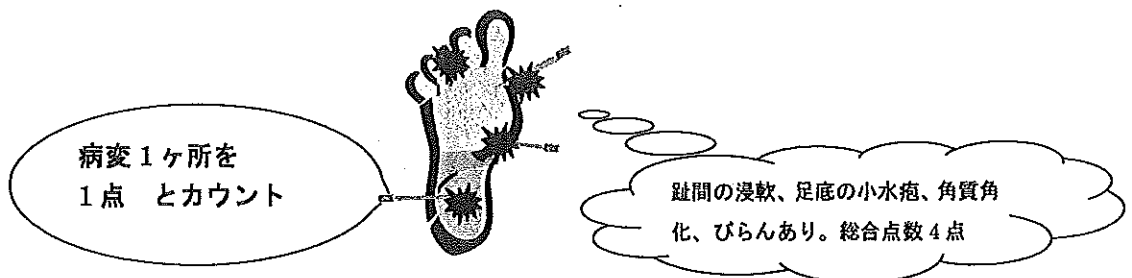
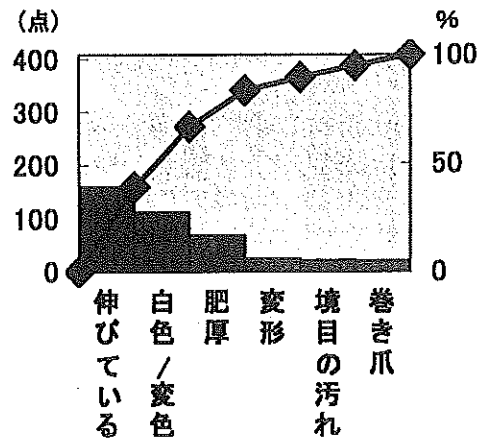
①青空 23名の足（足首～下）の状態 H21.7/1



<皮膚に問題がある 22 人の原因別パレート図> 7/5 杉山作成



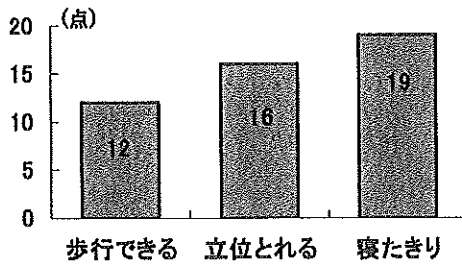
<爪に問題がある 22 人の原因別パレート図> 7/5 杉山作成



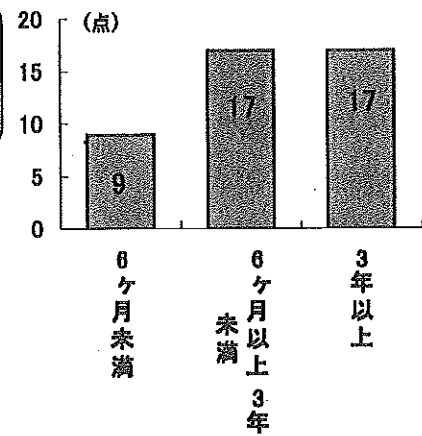
<ADL別 病変点数の平均値> 7/5 杉山作成

<入所期間別 病変点数の平均値> 7/5 杉山作成

※「伸びている」を除いた爪・皮膚の問題の平均



入所後半年経過で足病変が増加する!?

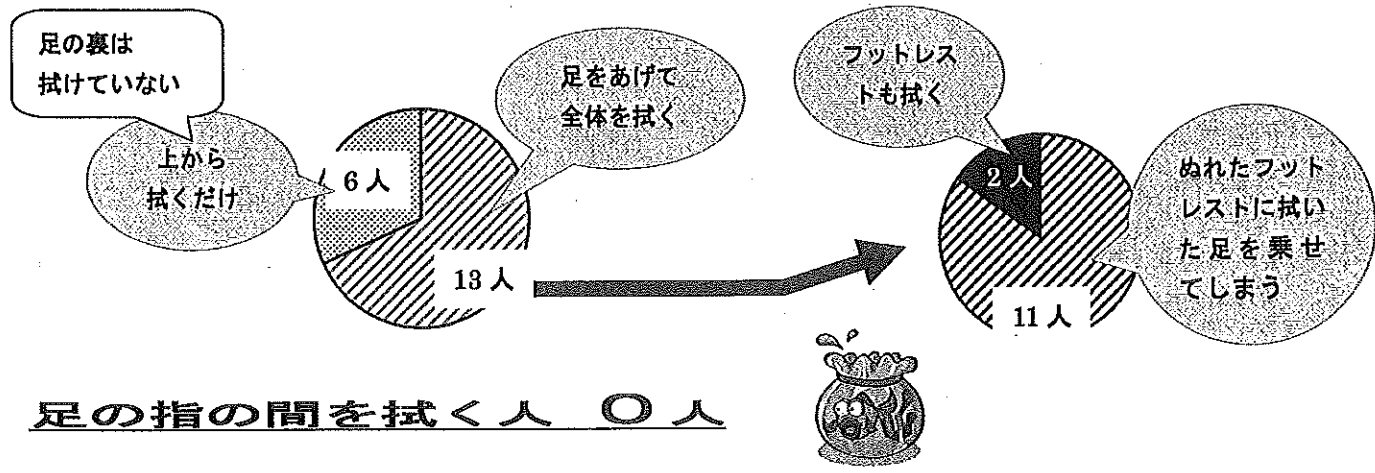


ADL低下に伴い病変増加!

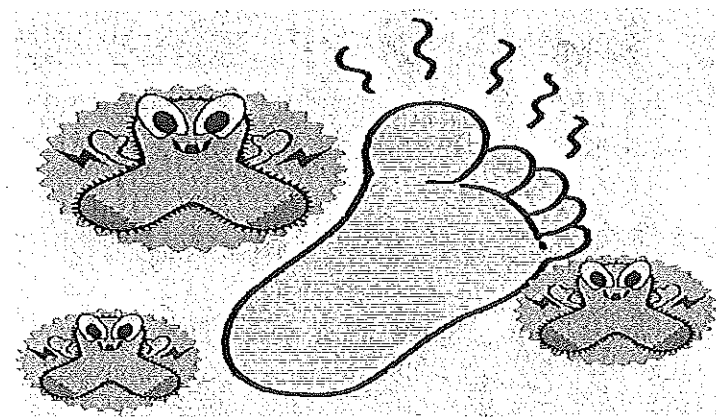


②足に関連する衛生面の援助状況

- ★ 入浴 週2回
- ★ 脱衣場の清掃 → 掃除機&水モップ、素足で通る水切りマットは自然乾燥のみ
- ★ 靴下の交換 週2回 → 就寝時脱いだものを翌日再び着用
- ★ 靴の交換 → 紛失や排泄物等で汚染したときに交換
- ★ 入浴後の足の拭き方 3F職員の介助方法を調査 (3回同じ動作で日頃の手順になっていると判断)

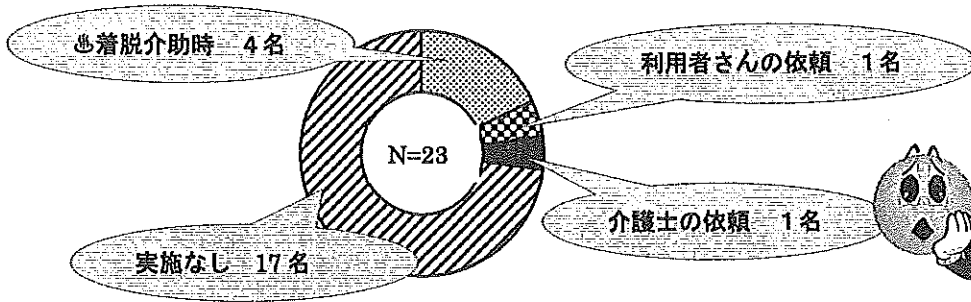


水気を含んだ状態で靴下や靴をはいている!



### ③爪に関する援助状況

★ 看護師が行った足の爪きりの実施状況 (H21.7/1~7/14)



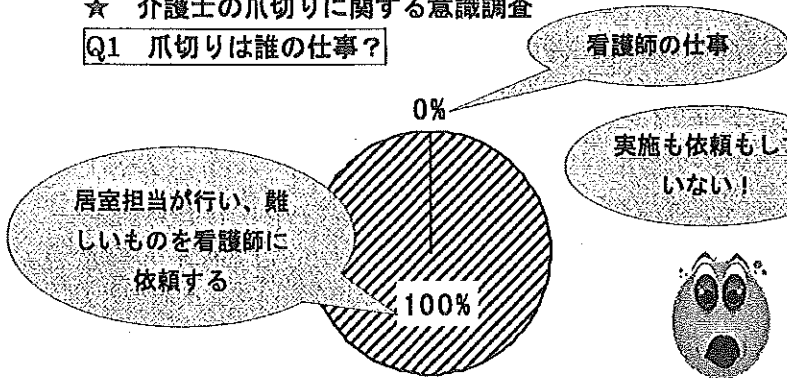
入浴時が観察のチャンス！しかし、着脱介助が中心になってしまい、かかわった人以外の観察や実施ができない...

2時間ほどで、20名前後の利用者さんが入浴する集団入浴。  
 歩浴7名・リフト浴6名 + ショートステイ利用者  
 着脱自立3名のみ、76%の方が一連の動作に介助が必要な状態。  
 洗身、着脱、誘導を介護スタッフ3~4人、看護師(後半1時間)1人で介助。

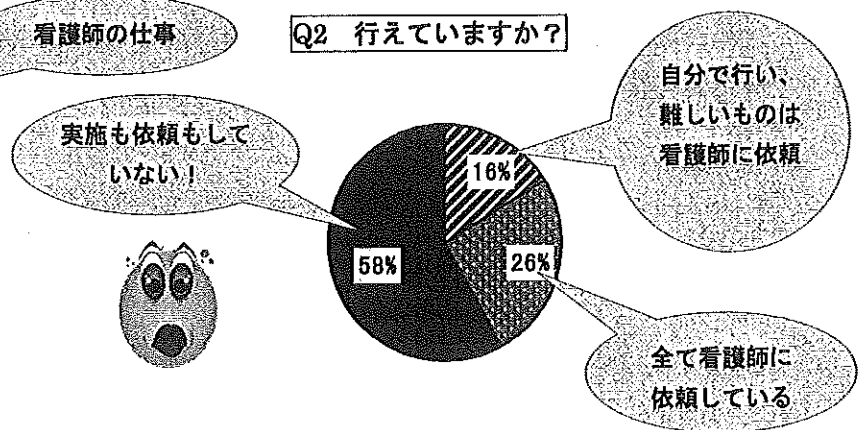


★ 介護士の爪切りに関する意識調査

Q1 爪切りは誰の仕事？



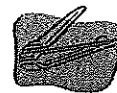
Q2 行えていますか？



★ 器材の消毒状況

爪切り実施後、アルコール綿で拭き取るのみ。

爪をしっかりと破棄していないものもあり、容器の中に切った爪がたまっている！



## 8. 目標設定

<2ヶ月の目標>

### ①皮膚・爪のトラブル総合点数を減少！

- ◎皮膚に問題がある人を → 60%減にする。 ※水虫の治療は3~6ヶ月必要。
- ◎爪に問題がある人を → 50%減にする。 ※変形、変色など治らない項目が含まれている。

### ②入浴後に足の指の間を拭く職員

0 ⇒ 19人全員にする！

### 9. 要因分析

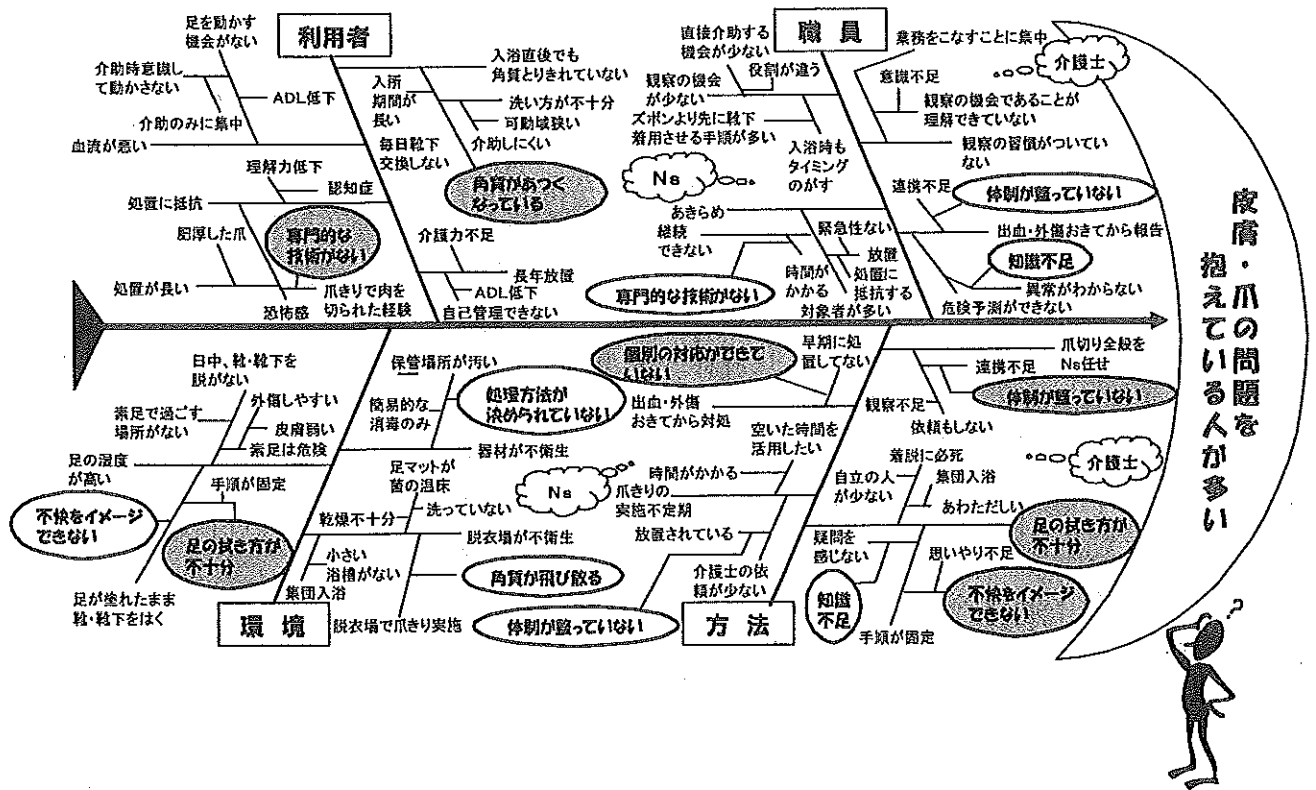


表-1 7/30 渡邊作成

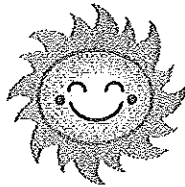
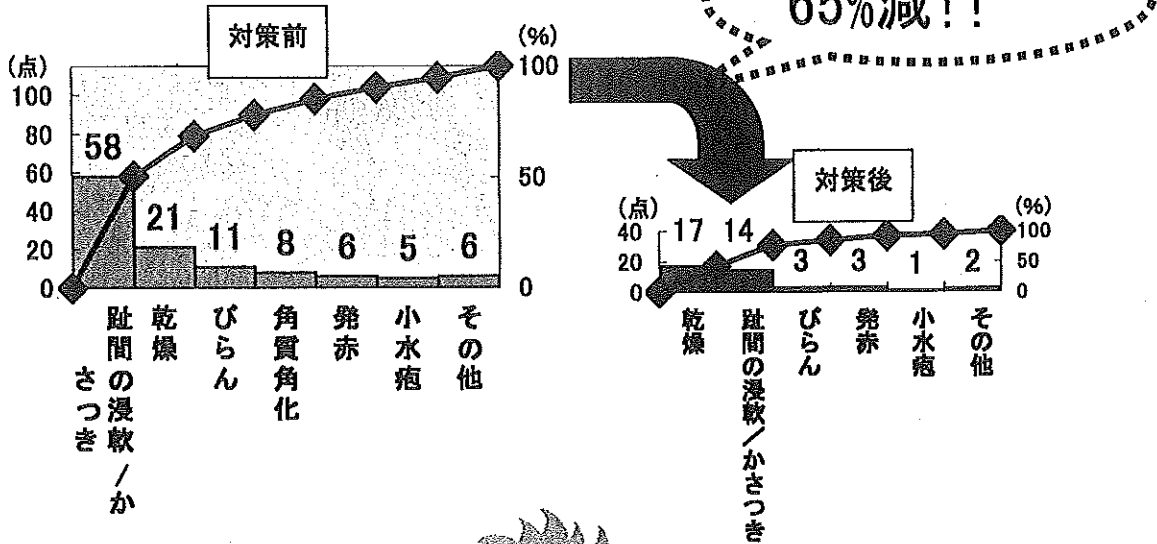
### 10. 対策立案・実施

要因	いつ	どこで	誰が	なにを	どうする
知識不足	7/24	介護士勉強会	QCメンバー	皮膚と白癬の一般知識と予防法について	勉強会を実施。資料を配付した。
不快をイメージできない	7/24	介護士勉強会	QCメンバー	日頃行われている手順で靴下、靴をはく実習	不快を体験し、日頃の手順の見直しを行う。
足の拭き方が不十分	7月末	看護室	本田	足拭きマット	作成し、確実な足拭きが定着するようにした。
(爪切りの)体制が整っていない	7/24	介護士勉強会	QCメンバー	観察から実施の手順のシステム化	各フロアに依頼
角質が厚くなっている	入浴前	青空フロア 脱衣場	QCメンバー	オリーブ油を浸した綿花	足首から下を清拭し、拭き取る前処置を行う。
角質が飛び散る	8月上旬	脱衣場フロア	爪切りを行う人	新聞紙	広げて爪切りを行い、環境が汚れないようにした
処理方法が決められていない	8月上旬	看護室	看護師	使用後の爪きりの処理方法	消毒方法の統一をはかり、衛生状態を改善した
専門的な技術がない	8/2	京都	QCメンバー4名	フットケアに必要な専門的な知識技術	フットケア協会足病変予防士2級講習会に参加し学んだ
個別対応ができていない	8中旬	看護室	QCメンバー	アセスメントシート	作成し、個々にあった処置を計画的に行えるようにした。

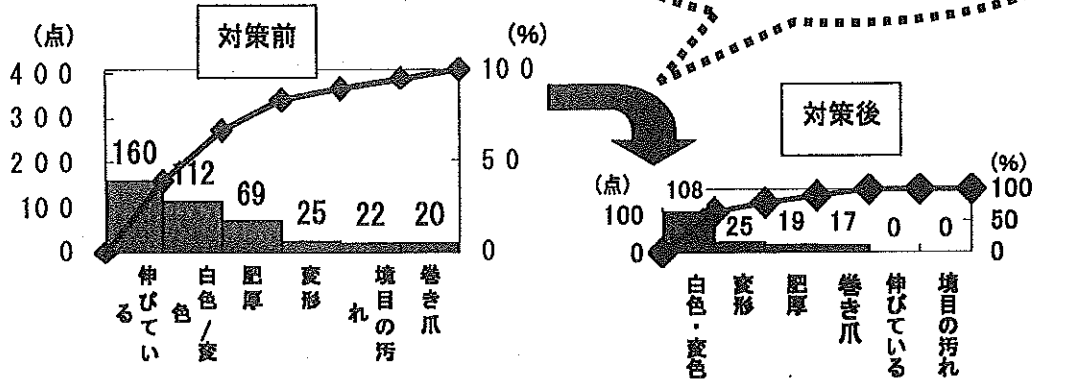
11. 効果確認

# ①皮膚・爪のトラブル総合点数

＜皮膚に問題がある人の原因別パレート図＞ 10/5 杉山作成



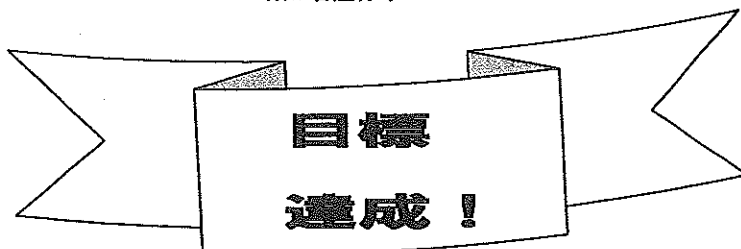
＜爪に問題がある人の原因別パレート図＞10/5 杉山作成



## ②足の指の間を拭く職員

0 ⇒ 18人全員に!

※1名産休中



## 12. 波及効果

- ・ 2Fフロアの介護職員も足の指の間を拭くようになった。
- ・ 利用者さんと接する時間が増えた。

## 13. 歯止め

表-2 10/15 田村作成

分類	要因	誰が	いつ	どこで	何を	どうする
設備化	角質除去	看護師	入浴前	医務室	オリーブ油を浸した綿花の補充	いつでも使用できる状況を保つ
標準化	新規入所者	看護師	入所3日以内	居室	足のアセスメント	個別計画を立てる
教育	足の拭き方が不十分な職員	看護師	発見時	浴室	不快体験	実施する

表-3 10/15 本田作成

## 14. まとめ

ステップ	良かった点	反省点
テーマ選定	日頃から関心のあるテーマを選定できた	
現状把握	細かい視点で観察することができた	取り上げたテーマ目的にあった調査項目をきめるのにとまどった
目標設定	達成可能な目標をたてることができた	設定値を決めた根拠がややあいまいだった
要因分析	さまざまな方面から原因を改めて考えることができた	重要要因の表現方法が悪く、伝わりにくい部分があった
対策立案・実施	取り組みやすい内容だった	現状で把握した悪い点全てを改善する対策ではなかった
効果の確認	視覚、触覚で分かりやすい効果で満足感が得られた。	爪に関して時間が足りなかった
歯止め	継続につながる内容を考えることができた	

## 15. おわりに

足の病変は素足を見て、直にさわるだけで特別な知識や道具なしでもある程度の診断が可能である。軽度な病変を早期に見つけ、対処することにより、今後起こり得る重篤な病態を予防することが期待できる。今回の活動を通し、まず「足を診る」ことが非常に重要であることを改めて実感した。

今後も「足を診る」ことを習慣づけ、アセスメントを行い、介護職員と協力しながら、いつまでも利用者さんの足の健康が保てるよう努力していきたいと思う。



# 健康は足から！